

I 概要

1. 紹介

下野市は、平成18年1月10日、河内郡南河内町、下都賀郡石橋町と同国分寺町が合併して誕生しました。

栃木県の中南部に位置し、都心から約85km圏にあり、首都圏の一端を構成しています。南北約15.2km、東西約11.5kmで、北は県都宇都宮市、南は小山市、東は真岡市と上三川町、西は栃木市と壬生町に接し、面積は74.59 k²です。

東に鬼怒川と田川、西に思川と姿川が流れる高低差のない、古来より開けた平坦で安定した自然災害も少ない地域で、JR宇都宮線の自治医大駅を中心にニュータウンによる新市街地が拡がり、日光街道沿いの小金井や石橋の旧宿場町とその周辺の田園地帯とともに下野市を形成しています。

天武天皇の白鳳時代には下野薬師寺が建立され、日本三戒壇の一つが設置されました。8世紀には聖武天皇の詔により下野国分寺・国分尼寺が建立され、古代東国における仏教文化の中心地として栄えた歴史があり、下野市の名称の由来となっています。



市の木「けやき」



市の鳥「うぐいす」



市の花「ゆうがお」



下野国分寺及び国分尼寺復元図



下野薬師寺復元回廊

【表紙の説明】

下野市では、下野ブランドを認定し、市内外の各種イベントへの参加や道の駅・観光協会等でのPR・販売など積極的に取り組んでいます。

(平成29年6月現在)

「一次産品、加工品、工芸品」19品

「市内産業の製品・技術」2件

「文化財等地域資源」11件

2. 市全体図



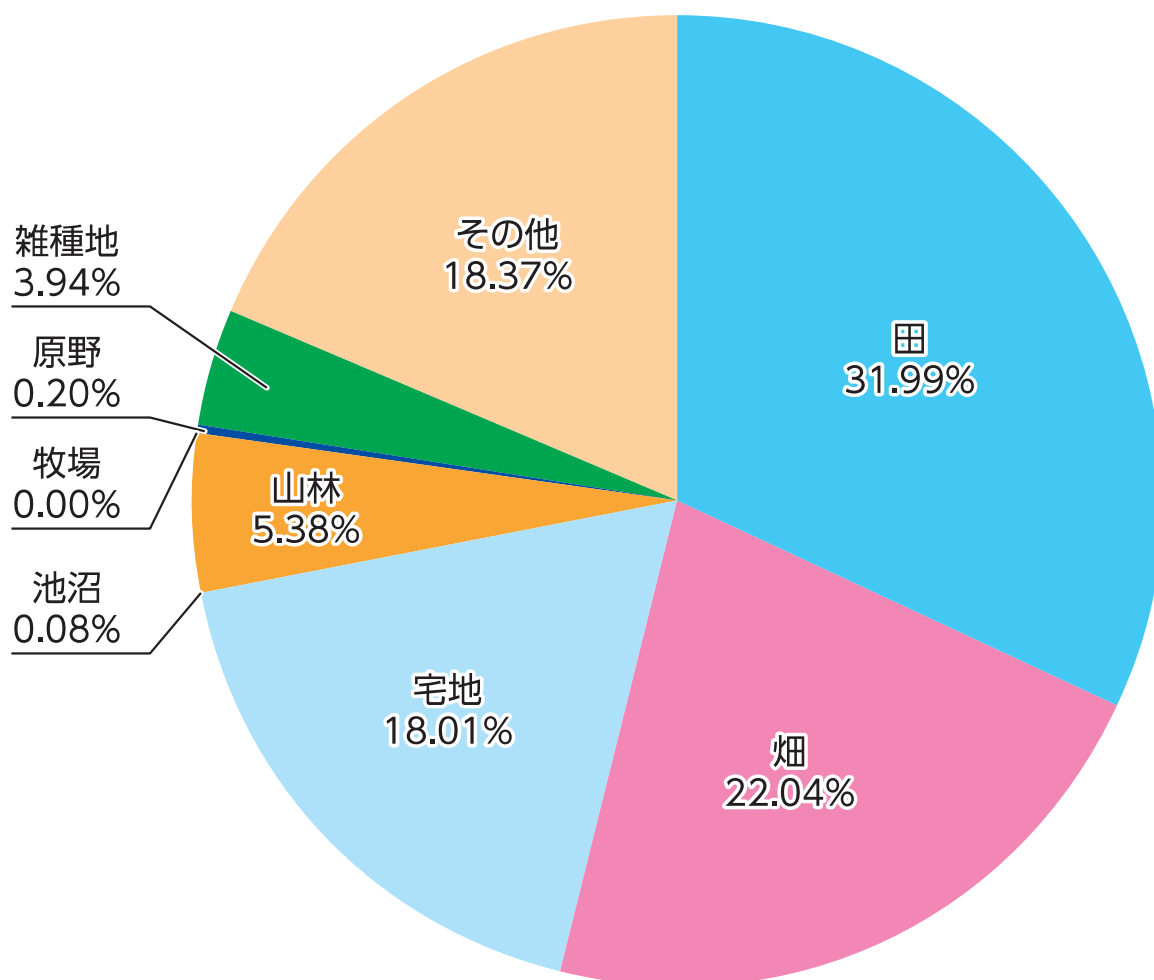
3. 面積

用途別面積

単位：km²

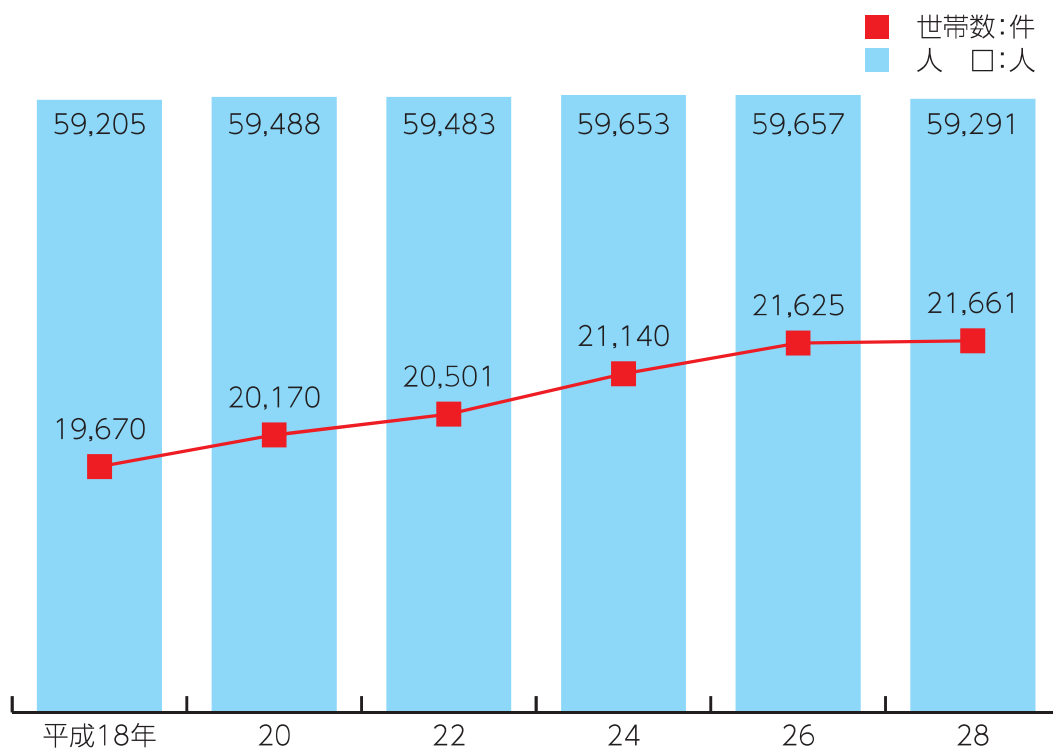
	面積	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他
下野市	74.59	23.86	16.44	13.43	0.06	4.01	0.00	0.15	2.94	13.70

資料：栃木県統計年鑑（平成27年1月1日現在）

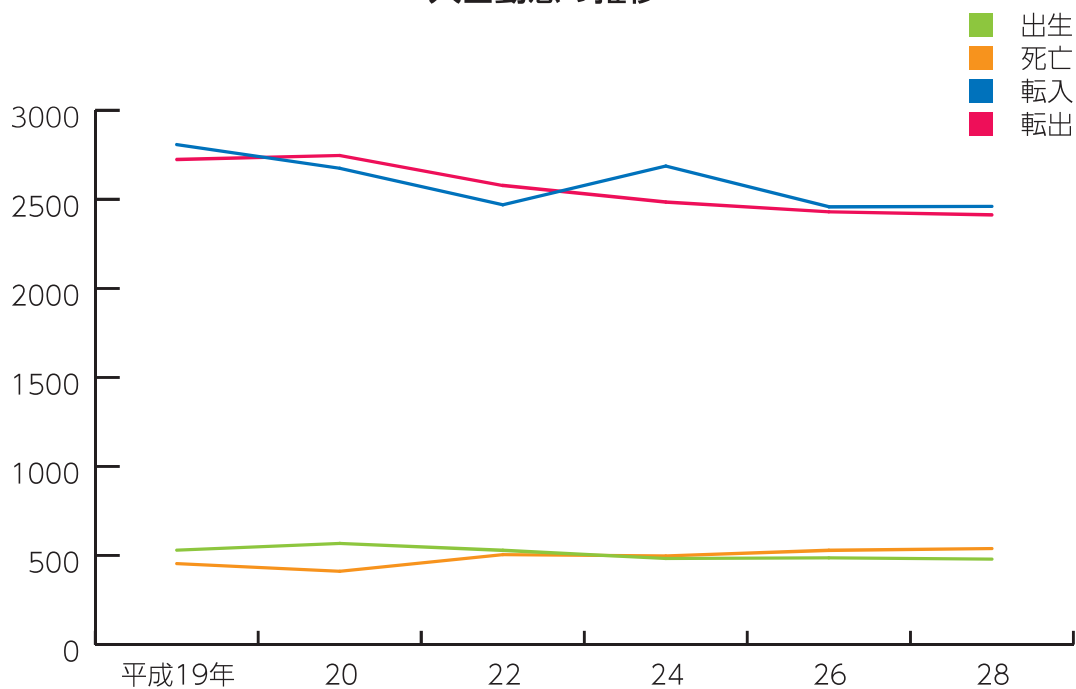


4. 人口

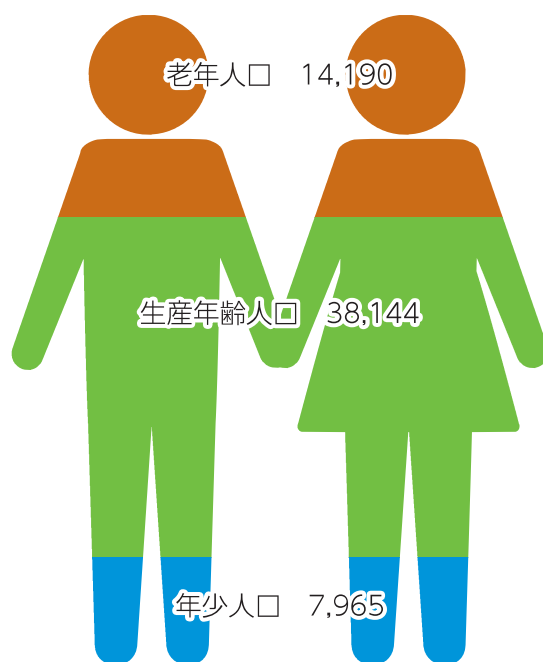
人口と世帯数の推移



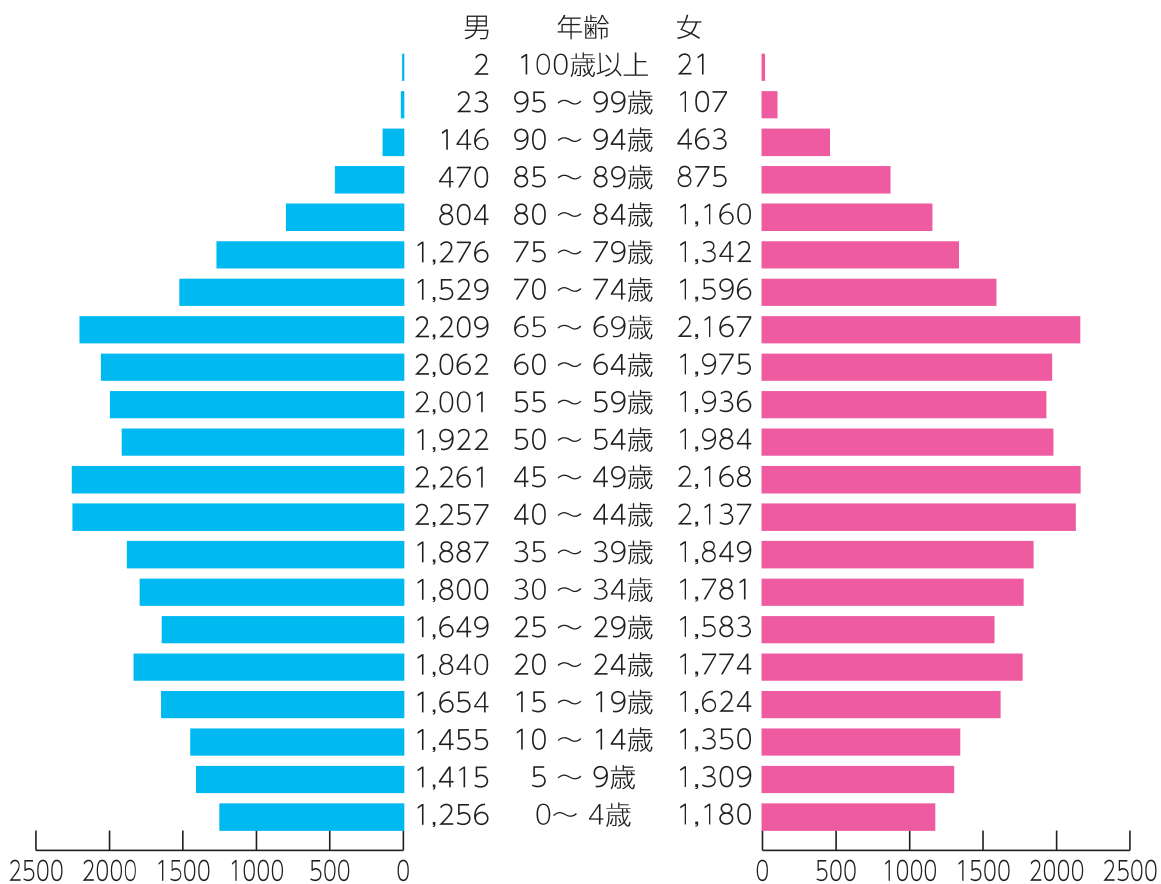
人口動態の推移



年齢3区分別人口 (H29.9. 末現在 単位：人)



人口ピラミッド (H29.9. 末現在 単位：人)



5. 産 業

産業別事業所数と従業者数

	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	その他
事業所数	257 13.7%	203 10.8%	9 0.5%	86 4.6%	520 27.7%	27 1.4%	182 9.7%	231 12.3%	157 8.4%	93 5.0%	111 5.9%
従業者数	1,440 6.7%	4,310 20.2%	25 0.1%	1,735 8.1%	3,823 17.9%	272 1.3%	355 1.7%	1,709 8.0%	5,083 23.8%	1,297 6.1%	1,326 6.2%

資料：平成26年経済センサス基礎調査

